

一九七〇年の万博と、 現在の万博が交錯する…

「未来につなぐ」をテーマに、能楽界がお届けする万博年にふさわしい特別公演



1970年万博・鉄鋼館公演「善知鳥」観世寿夫
写真：今駒清則

楽しむ能「楽」プロジェクト! 万博と能楽 特別公演

2025年10月10日(金) 11日(土) 19:00開演
万博記念公園 EXPO'70パビリオン別館

人 能 楽 協 会
THE NOHGAKU PERFORMERS' ASSOCIATION

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(全国キャラバン))
独立行政法人日本芸術文化振興会



楽しむ能「楽」プロジェクト！ 万博と能楽 特別公演

—— 1970年と2025年、能楽がつなぐ、万博と未来。55年を経て伝説の舞台が今、蘇る。 ——

2025年10月10日(金)・11日(土)

開演19:00 (開場18:00/終演20:30予定)

会場:万博記念公園 EXPO'70パビリオン別館



1970年日本万国博覧会(大阪万博)当時の鉄鋼館をそのまま記念館として展示。別館は、1970年万博開催時に太陽の塔の頂部に設置されていた「黄金の顔」が展示される象徴的な空間。

チケット料金

4,500円(全席自由席)

〈 前売りチケット販売期間 〉

9月1日(月)午前10時 ~ 10月9日(木)

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

チケット購入

イベントレジスト (QRチケットレス入場)



主催・問合せ:公益社団法人能楽協会

TEL:03-5925-3871 | <https://www.nohgaku.or.jp/>

※能楽協会では、チケット販売をしておりません。上記取扱所にてお求めください。

番組 | 10月10日(金)

「万博と能楽」スペシャルムービー上演



たけだ たかし
武田 孝史
シテ方宝生流

解説

ねおんぎょく

狂言「寝音曲」

シテ 茂山 千三郎
アド 山口 耕道

あおいのうえ

能「葵上」

シテ 武田 孝史
ツレ 松田 若子
ワキ 福王 和幸

笛 赤井 啓三
小鼓 成田 達志
大鼓 山本 哲也
太鼓 上田 悟

後見 佐野 玄宜
地頭 野月 聡



「葵上」武田孝史/写真:古賀恒雄

あらすじ

「葵上」(あおいのうえ) 光源氏の正妻葵上は物の怪に悩まされ伏せている。照日の巫女が梓にかける(靈魂を呼び寄せるとそこに現れたのは六条御息所の生霊だった。嫉妬から葵上を殺そうとする霊であったが、横川小聖の加持祈禱により調伏されてしまう。本年7月、万博のEXPOホール「シャインハット」で好評いただいた能楽の「鬼」。鬼を通して描かれる恨みや悲しみ、そして人間の本性に迫る。

番組 | 10月11日(土)

「万博と能楽」スペシャルムービー上演



かんべ てつじょう
観世 鏡之丞
シテ方観世流
能楽協会 理事長

解説

うとう

能「善知鳥」

シテ 観世 鏡之丞
ツレ 長山 桂三
子方 長山 三誉
ワキ 福王 茂十郎
アイ 茂山 逸平

笛 杉 信太郎
小鼓 久田 舜一郎
大鼓 河村 大

後見 上野 朝義
地頭 浅井 文義

「善知鳥」(うとう) 親子の情愛が深いと言われる海鳥の善知鳥。陸奥外の浜の猟師はその善知鳥を獲ることを生業としていた。死後、殺生禁断の罪を負い、地獄で苦しみに喘ぐ猟師の姿がリアルに描かれる。

1970年万博の際に鉄鋼館の円形舞台で演じられた観世寿夫の「善知鳥」は、今に語り継がれる名演であった(表面写真)。今回は、当時を見つめた「黄金の顔」のもとでの歴史的再演である。

アクセス/入場方法



大阪モノレール
「万博記念公園駅」下車



駐車場案内
※各駐車場の
営業時間にご注意ください。



詳しくは特別公演
特設サイトを
ご確認ください

「中央口」からご入場ください。

※「中央口」付近でお並びいただけます。「東口」からはお入りいただけません。

※万博記念公園は17:00閉園です。

※17:15頃より「中央口」付近(園外)で係員が並び列の誘導をいたします。係員の指示に従ってください。

※開場18:00以降、並び列の前方より順次園内にお入りいただけます。混乱を避けるため、お待ちいただく場合がございますのでご了承ください。

